



「人口減少時代の新たな防災」

～事前復興のすすめ 安心して安全に暮らし続けるために～

2017.10.26 THU 18:00 ～ 20:00

会場：建築家会館1階大ホール(東京都渋谷区神宮前 2-3-18)

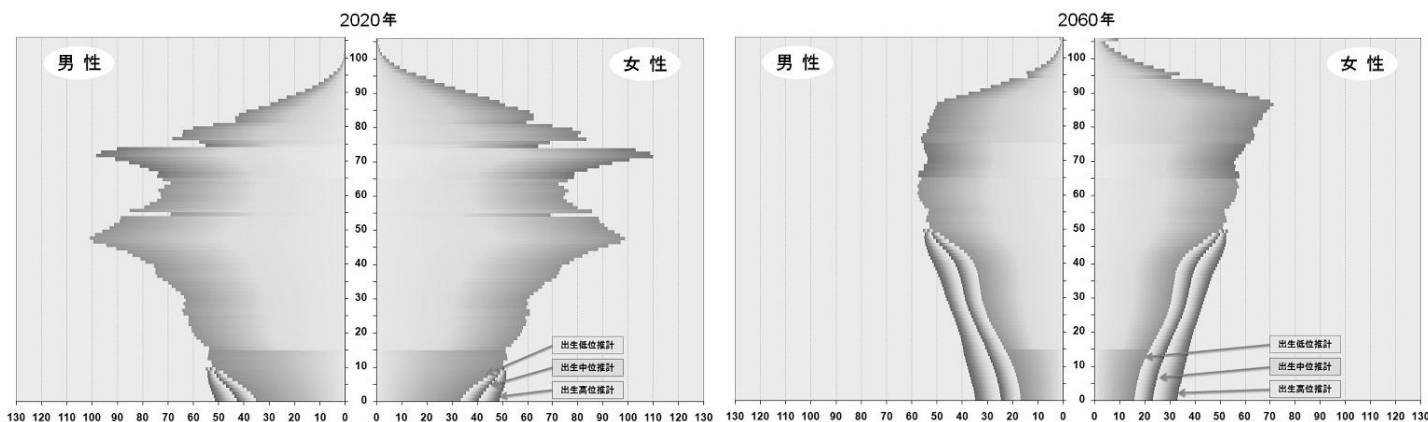
参加費：無料 但し懇親会会費は別途¥1,000(同会場 20:00～21:00)

我が国は人口減少と少子高齢化の急速な進展が現実のものとなっている。総人口は、約30年後の2048年には9,913万人となり、2060年には8,674万人に減少するものと見込まれる。また2013年に25%(4人に1人)を上回った高齢化率は、さらに増加して2060年には39.9%となる。

このような中で、災害が地域に及ぼす影響は高度成長時代とはまったく異なる様相を示し、大きな被害を受けた地域では復興への道筋を見いだすことが更に難しさを増すと予想される。被害を最小にとどめ、安心して安全に暮らし続けるための事前復興への取り組みはますます重要になる。人口減少に向かう中でどう進めていくか模索する。

第1部 基調講演：「人口減少時代の新たな防災」 牧 紀男 (京都大学防災研究所 教授)

第2部 パネルディスカッション



出典：「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

主催：一般社団法人災害総合支援機構(RMO)

後援：災害復興まちづくり支援機構

公益社団法人 日本建築家協会

一般社団法人 日本建築学会

申し込み・お問合せ：一般社団法人災害総合支援機構事務局

E-MAIL：miyajima@rmo.or.jp (宮島)

F A X：03-3829-0147 (庫川)

一般社団法人 災害総合支援機構 講演会

<プログラム>

第1部

基調講演：「人口減少時代の新たな防災」

牧 紀男（京都大学防災研究所 教授）

第2部

パネルディスカッション

登壇者：牧 紀男（京都大学防災研究所 教授）

中野明安（弁護士、RMO副代表理事）

加納佑一（東京ボランティア・市民活動センター）

進行：根上彰生（日本大学教授、RMO副代表理事）

2017.10.26 (THU)

講演会 18:00～20:00 懇親会 20:00～21:00

【アクセス】



牧 紀男氏 (Norio Maki)

◆専門

防災計画、災害復興計画、危機管理システム、住まいの災害誌。

数多くの自治体の防災戦略計画策定、地域防災計画に携わると共に、2004年新潟県中越沖地震で大きな被害を受けた小千谷市の復興計画の策定・検証や、2011年東日本大震災では岩手県災害対策本部において災害対応時の情報処理支援を行う等、被災地における自治体支援活動を行っている。また日本内外の災害後の復興プロセス、住宅再建についても調査を行っている。

◆略歴

1968年 生まれ 和歌山県出身

1987年 和歌山県立向陽高等学校卒業

1991年 京都大学工学部建築学科卒業

1993年 京都大学大学院工学研究科建築学第二専攻修士課程修了

1996年 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻博士課程指導認定退学

1997年 京都大学大学院工学研究科で博士(工学)を取得

1996年 京都大学大学院工学研究科助手

1998年 理化学研究所／防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター副チームリーダー

2003～2004年 カリフォルニア大学バークレー校客員研究員

2004年 同チームリーダー

2005年 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授

2014年～ 京都大学防災研究所 教授

<申込みフォーム>

下記項目にご記入の上、E-mail または Faxにてお申込みください。締め切り:10月23日(月)

一般社団法人 災害総合支援機構事務局

E-mail: miyajima@rmo.or.jp / Fax: 03-3829-0147

ふりがな		E-mail	
ご氏名			@
ご所属	名称	ご連絡先	— —
	分野	Tel	
参加希望の項目に○印をつけてください。		<input type="checkbox"/> 講演会 「人口減少時代の新たな防災」	
		<input type="checkbox"/> 懇親会 (会費 ¥1,000-)	